《真砂バプテスト教会 新型コロナウイルス感染症への対応について》

－2021年1月9日版－

新型コロナウイルス感染症再拡大の状況を受け、1月7日に一都三県で緊急事態宣言が発出されました。当面は飲食店の時短営業の自粛要請など限定的な対策がとられ、学校は休校措置をとりません。しかし今後さらに宣言期間の延長や規制の強化なども想定されます。正しい情報を得ながら、教会でも適切な対応を続けたいと考えています。

既に私たちの教会では新しい生活様式を取り入れた活動に取り組んでまいりましたが、もう一度注意喚起を徹底いたします。緊急事態宣言の発出後一カ月は、以下のように教会活動を進めます。教会は神を愛し、隣人を同じように愛することを大切にしています。主を第一としつつ、隣人のいのちを自分自身と同様に愛し(大切に)、また医療現場にさらなる負担をかけないように、私たちは最善を尽くしたいと思えます。どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

- ✓ 会堂での礼拝は継続しますが、2月の聖餐式は見合わせます。
- ✓ 人との間隔はできるだけ 2m(最低 1m)空けてください。
- ✓ 会話をする際は可能な限り真正面を避けましょう。また教会ではできるだけ大きな声で話さないようにご注意ください。
- ✓ 入り口での手指のアルコール消毒をお願いします。
- ✓ マスクを着用し、咳エチケットに配慮してください。
- ✓ 手洗いする場合は水と石鹸で丁寧に洗ってください。
- ✓ 会堂ではこまめに換気をしています。防寒対策をお願いします。
- ✓ 体調不良の場合は決して無理をせずに、礼拝出席を控えてください。特に咳、発熱などの風邪症状がある場合は礼拝出席をご遠慮ください。
- ✓ 公共の交通機関を使って来られる場合には、細心の注意を払っての行動をお願いします。
- ✓ 礼拝前後に「密」とならないように配慮しましょう。あいさつや立ち話を避けるなどの対応をお願いします。礼拝の後にはできるだけ速やかに帰宅するようお願いします。
- ✓ 年齢制限には困難があるため、明確な年齢制限はいたしません。重症化リスクの高い高齢(目安としては75歳以上)の方や基礎疾患をお持ちの方は、できる限り礼拝出席をお控えください。またご家族とよく話し合った上でご判断ください。
- ✓ 朝8時と10時からの二度の礼拝を行っています。下の会堂は20名程度、1Fは15名程度の座席数です。できるだけ各礼拝に人数が分散するようにご配慮ください。
- ✓ 10時からの礼拝は、インターネットでのライブ配信を継続します。
- ✓ これまで行ってきた週報と礼拝CDの郵送も継続します。
- ✓ 会堂での諸集会は休止を継続します。
- ✓ 水曜日の祈り会は引き続きオンラインで開催します。日々のみことばの配信も継続します。

- ✓ 礼拝では以下の対応を実施します。
 - 礼拝に来られる前にご自宅で検温をお願いします。また入り口でも検温を実施します。37.5 度以上の方はご自宅で礼拝をお守りください。
 - 名簿への出席の記載は役員の方で行います。
 - 入り口付近に献金箱を設置いたします。礼拝の前後にお献げください。
 - 聖書と讃美歌はなるべくご自身のものをお持ち下さい。貸出はいたしません。
 - 賛美は、伴奏を聞きながら声を出さずに心の中で歌詞を歌うことといたします。
 - 礼拝は 40 分以内といたします。
 - トイレの使用後は、必ず手洗いと消毒をするようお願いいたします。
 - 教会でお茶等の用意はしばらくいたしません。
 - 会堂・トイレの掃除等は役員で担当いたします。

ご不明な点や何か気になる点がありましたら、教職や教会役員までお声をおかけください。また今回の対応は、状況に合わせて柔軟に変更します。その都度ご連絡しますので、よろしくお願いたします。

新しい年になってもまだ自由に安心して集うことはかないません。しかし、私たちはキリストにあってひとつのからだとされています。お互いのために改めて祈りましょう。また地域の方々のためにも祈りつつ、主にある平安をもって歩んでまいりましょう。

「子どもであるなら、相続人でもあります。私たちはキリストと、栄光をともに受けるために苦難をもにしているのですから、神の相続人であり、キリストとともに共同相続人なのです。今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りないとは私は考えます。」

ローマ人への手紙 8 章 17、18 節

真砂バプテスト教会
牧師 倉嶋新
副牧師 荒川紀子